

Game Changer プロジェクト ～パラスポーツで社会を変える～ 令和元年度中間報告

1 実施事業

事業名	来日プログラム パラアスリートから学ぶ共生社会
日時	令和元年7月4日（木）午前9時から午後6時まで
場所	向台小学校、ひばりが丘中学校、スポーツセンター
講師	マルレーネ・ヴァン・ガンセウインケル選手（陸上選手） リタ・ファン・ドリエル氏（オランダオリンピック委員会・スポーツ連合パラスポーツプログラムマネージャー、国際パラリンピック委員会理事）
目的	・ パラスポーツに親しみ、定着を図る。 ・ 西東京市における障害者のスポーツ環境の提供について検討するため、オランダにおけるスポーツサービスポイント（SSP）やパラ陸上競技財団の様子を学ぶ。
概要	◆ パラスポーツ交流授業（向台小学校、ひばりが丘中学校） (1) 講演 オランダでは、障害者自身が望んでいることを大切にし、「障害のある人もない人も一緒にスポーツを楽しむ」ことが実践されている。マルレーネ選手は、生まれつき左手のひじから先と、左足のひざから先がなくても、健常者の友達とサッカーをするときも自分がやってみたいと望んだゴールキーパーをして一緒に遊んでいた。 リオパラリンピック大会走り幅跳びで銅メダルを獲得、2018年には100m走、200m走で世界記録を更新したマルレーネ選手は、障害があっても特別なコーチを探すことはなく、健常者と同じスポーツクラブで他のメンバーと一緒にスポーツをしてきた。「これが、障害のある人もない人も一緒に生きるということであり、少し見た目が違う人に出会った時は、ぜひ心を開いてスポーツと一緒にしてみよう。」と語りかけ、児童・生徒たちも大いに刺激を受けた様子が見られた。 東京2020パラリンピック大会に向けて、「若い人にたくさん見に来てほしい。みなさん自身の目でパラリンピアンがどんなことができるか見てほしい。走り幅跳び、100m走、200m走の3種目で金メダルを目指す。メダルを取る最高の瞬間と一緒に会場で味わってほしい。」と今後の抱負を述べた。 (2) マルレーネ選手との交流 小学校では児童と一緒にオランダの鬼ごっこ（氷鬼に似た遊び）や中学校では生徒と一緒にスタートダッシュの練習を共に楽しみながら行った。 (3) リタさんのパラスポーツ授業（向台小学校のみ） アクティビティを交えながら、パラリンピックの種目のクイズを行った。 児童が、どんどん惹き込まれていく様子が印象的だった。

	◆西東京市スポーツサービスポイントの検討（ワークショップ） 市民やスポーツ関係、福祉関係の幅広い方々にご参加いただき、西東京市にお行けるスポーツ相談窓口、スポーツ活動の場所、受け入れる人をつなぐ仕組みについて考えた。 障害者となつながら、スポーツの活動へと導く大切さや、スモールアクティビティを通して活動を展開していく方法が挙げられた。
参加人数	向台小学校 3年生 157 人、ひばりが丘中学校 1 年生 118 人 ワークショップ 30 人
小・中学生の感想	・「手足がなくてもみんなと同じように走れる」と言っていたことが印象に残った。 ・身体が不自由でもスポーツなど普通の人として生活しているのがすごいと思った。 ・障害があっても活躍していて、スポーツを楽しんでいた。 ・障害があっても自信をもっていてカッコよかった。 ・パラスポーツでも普通のスポーツと変わらずみんなができることを学んだ。 ・思っていたよりも障害者はいろいろなことができ、私たちと違いはないと思った。

事業名	コーフボール体験会
日時	令和元年 7 月 7 日（日）午後 2 時から午後 4 時 30 分まで
場所	柳沢公民館
講師	ドルフ・ナイブルック（オランダコーフボール協会）
概要	コーフボール（オランダ発祥のバスケットボールを元に考案されたスポーツ）をテーマにしたインクルーシブアクティビティ
内容	ドルフ氏は、楽しむことが 1 番大事であるとともに、人生のレッスンとして、一つずつ成功する体験を積んでいく。」と話し、参加者の知的障害者が、テクニクではなく自分自身で経験して覚えていくことを体験した。

事業名	パラ卓球を観戦に行こう！ ITTF・PTT ジャパンオープン 2019 東京大会		
日時	令和元年 8 月 2 日（金）午前 9 時 30 分から午後 1 時まで		
場所	港区スポーツセンター		
概要	平成 29 年 11 月にプロジェクトの一環でお越しいただいたケリー・ファン・ゾン選手が出場する大会の応援。		
参加人数	10 人	アンケート回答数	10 人
参加者の声	・自分のハンデ、自分のからだのことを十分に知り、自分のできる最大限の工夫をしている姿が素敵でした。 ・障害の程度にかかわらずすばらしいプレーを見せてもらった。 ・国際大会を見たのは初めてだったが迫力があり、観戦・応援してよかった。 ・障害があっても全力でプレーしていて感動した。		

